

移動式定点撮影システム

車両に搭載したカメラで、走行しながら 定点写真の自動撮影が可能

GPS 位置情報を利用した移動式定点撮影システムにより、位置情報をプログラミングした同一箇所の繰り返し自動撮影が可能になります。

本システムは、カメラを搭載した車両により、毎回同じ位置で撮影できるシステムです。操作は、事前にカメラ及びパソコン等を搭載した車両で走行し、撮影位置の情報（GPS から取得する座標）をシステムに登録させます。その後の撮影は、同じ車線を走行するだけで同じ位置で自動に撮影します。このシステムでは、毎回降車することなく撮影が可能であるため、悪天候時でも安全に短時間で道路状況（路面、付属物、沿道状況）が撮影可能であり、通常時との違いや経年変化等を把握することが可能です。

使用機材



1 GPS アンテナ



車外 車内

マグネット式で車両を選ばず、簡単に取付が可能です。
車両の位置情報を衛星から取得します。



2 車載カメラ



吸盤状の取付器具で車両を選ばず、簡単に取付が可能です。
システムからの指令により自動撮影します。

3 システム



ノートパソコン（タッチパネル）の簡単な操作で、GPS から取得した位置情報により、カメラを制御します。

システム概要

位置登録



事前に走行し、GPS から取得する位置情報をシステムに登録します。

撮影



登録した箇所を走行するだけで、自動撮影が可能です。

データ蓄積



データの蓄積により、撮影箇所の経年変化等の把握が可能です。



株式会社 構研エンジニアリング

〒065-8510 札幌市東区北18条東17丁目1番1号

TEL 011-780-2811 (代表) FAX 011-785-1501 <http://www.koken-e.co.jp>

問い合わせ先 営業部 TEL 011-780-2812



移動式定点撮影システム

道路空間状況の経年変化等を写真で蓄積（データベース化）

【従来方法】

定点毎に車両を駐車し、写真撮影あるいはビデオ撮影を基に静止画化による整理。

撮影時間の短縮



安全性の向上

【本システム】

システムを搭載した車両が、走行時に事前に登録した定点を自動撮影。短時間で撮影が可能であるため、撮影頻度の増加。

- 走行中の車両から事前に登録した位置での自動撮影が可能です。※ 1
- カメラの角度を変えることにより、法面の撮影が可能です。※ 2
- 最短で約 20m 間隔の撮影を、時速 60km/h で走行しながら撮影が可能です。
(撮影間隔を広げると高速走行時でも撮影可能) ※ 3
- 車両の駐停車および降車が不要なため、短時間で安全に多量のデータを蓄積することができます。
- 一度登録した地点の撮影は、運転者が一人でも可能であり、作業の省力化が図られます。



こんなことに活用できます

- 定期的に道路状況を定点撮影することにより、道路維持管理の基礎資料として活用できます。
- 防災カルテ点検の定期点検の補完として、道路状況の経年変化等を蓄積・把握・分析に活用できます。
- 冬期の道路走行環境（視程障害状況等）について、経年変化等を把握できます。(状況写真の蓄積、データベース化)
- 冬期道路管理の補完として、法面の雪庇発達状況・雪面状況（クラック、崩壊等）の蓄積・把握・分析に活用できます。

【国道 238 号 KP = 290.2 付近】



【国道 238 号 KP = 263.2 付近】



【国道 238 号 KP = 290.3 付近】



【国道 238 号 KP = 263.3 付近】



撮影例（地吹雪時の道路環境変化）

撮影例（道路状況の蓄積）